

【校訓】 自主 誠実 根気

深中だより

令和8年2月27日(金)発行 第11号
深川市立深川中学校 校長 杉田 嘉雄
〒074-0013 文光町13番3号 TEL23-3574

部活動地域展開が進行中ですが、本来の部活動とは！

コロナ禍の最中、令和4年度に「部活動の地域移行」という言葉が発信され、現在は「部活動の地域展開」という名称で事業が進行中で、令和5年度から8年度の3年間は改革準備期間とされています。本校では70%ほどの生徒が学校の部活動に所属していますが、それ以外にも地域のクラブチームに所属して活動している生徒もいるので、全校生徒の8割以上が運動部や文化部などの活動を行っていることになります。この先6年間で何とか休日の部活動指導だけでも地域で行うよう国から方針は出ていますが、そんな容易なものではありません。各地域の事情や指導者の確保、保護者側の負担など課題は山積しています。それでも本来、部活動とは、学級や学年での活動、委員会活動、生徒会活動に関するものと異なる興味を持った者同士の集団で営む組織活動です。よってそこにも当然、目標や活動内容、ルールなどが存在します。集団活動ですから部員みんなで気持ちよく活動できるように一定の約束事があります。好きな競技・活動を通じて人として、社会人として学ぶべきことは多々ありますし、学校で一人の生徒を総合的に、多面的に捉えることができます。朝、登校して真っ暗になるまで学校にいて、授業・休み時間・給食・昼休み・清掃・班活動・生徒会活動・部活動・各種学校行事などなど、様々な取組がある中で、部活動のウエイトはととても大きいものがあります。当然、好きな競技や活動に打ち込める、好きなもの同士が集まったチームで活動できる大会やコンテストなどに出場して自分たちが積み重ねてきた技術や努力を確認することもできます。多学年からなる集団というだけでなく、合同チームであれば他校との関係もできるので自校の学級・学年では経験できない礼儀や挨拶、交流や情報交換ができるなど、一定の教育効果があります。さらに、学級担任や教科担任からすれば、日頃の生活の様子と異なる姿を目にすることができるという点が部活動の素晴らしいところの一つでもあります。「この子にはこんな一面があったのか」、「日中は元気なかったけど部活では元気そうだな」、「学級と部活では生活態度が違うな」、「こんないいところがあるから今度担任の先生に伝えよう」など生徒を多面的・多角的に理解して、多くの教員で情報共有することができます。ところが、クラブチームなどで学校と関わらない団体に所属して活動している生徒の様子はなかなか情報として入ってくるのが少なくなっていました。



社会全体に及ぶ働き方改革の波が教育界にも様々な形で押し寄せています。中学校教員が時間外勤務として働き、超過勤務の要因となっている大きなものは、**部活動指導と生徒指導等の対応**です。両者とも簡単に対応・処理できるものではなく、長い時間をかけて組織的に業務を行なってきました。けれども教員が心身ともに健康な状態で生徒に向き合えない状況を改善する必要があることから、文部科学省が、右記の**部活動改革の理念**を踏まえつつ、『**学校と教師の業務3分類**』(QRコード参照)を掲げ、双方の改革を実現すべく取り組んでいるところです。

＜部活動改革の理念＞

- 「将来にわたって子どもたちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保・充実」
- 「地域全体で関係者が連携して支え、子どもたちの豊かで幅広い活動機会を保障」
- 「子どもたちが等しく多様な学びと体験に触れられ、心の居場所ともなる環境整備」

部活動改革と働き方改革という一見相反するもののように見えますが、詰まるところ目指すところは同じであり、変化の激しい世の中でたくましく生き抜く子どもたちを育成するためにも、学校を取り巻く小さなコミュニティだけで解決を目指すのではなく、広範な地域社会全体の理解と協力が必要な時代に入ってきていると痛感させられます。



入学説明会 1月30日(金)

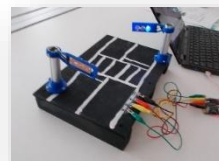


令和8年度の新入生と保護者を対象に入学説明会を行いました。中学校の担当者から中学校の学習と生活について説明があった後、保護者の皆さんには深川警察署の生活安全課の方から、スマホやSNSの使い方についてお話がありました。6年生は2つに分かれ国語と社会の体験授業に参加してもらいました。少し緊張している様子もありましたが、実際にいくつかの問題に挑戦したり、考えを交流するなどして中学校の授業の雰囲気を感じてもらいました。新たに仲間となる皆さんの入学がとても楽しみです。

滝川工業との遠隔授業 2年技術 2月6日(金)

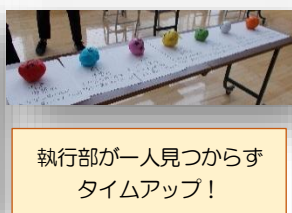
今年度初めての取組として、滝川工業高校のご協力でプログラミングの遠隔授業を実施しました。高校とオンラインでつなげて高校生が説明してくれました。中学校側では、説明を聞いて自分たちのタブレットでプログラミングを体験しました。うまく入力できると、高校生が作成した信号機が点滅します。教員1名と滝工3年生2名(深中卒業生も)来てくださり、サポートしてくれました。高校で頑張っている先輩と接することは中学生にとって励みになります。ご協力に感謝いたします。

教材も滝工生の
手作りです



生徒会企画 昼休み 2月9日(月)

生徒アンケートで「全校で交流したい!」という声もあり、生徒会で企画しました。校内に隠されている7つのドラゴンボールと5人の生徒会執行部を探し、図書ホールに集められたらゲームクリアです。開始の合図で全校生徒が校内のあちこちを探し回りました。校内放送での実況もあり、とても盛り上がりました。トラブルなくみんなが楽しむために、執行部がしっかりルールを考え、みんながそれを守ることで気持ちよく楽しい行事になりました。



執行部が一人見つからず
タイムアップ!



野球部除雪ボランティア 2月21日(土)

昨年度に引き続き野球部が市内高齢者住宅の除雪ボランティアを行いました。地域の方の力になれることは、中学生にとっても励みになります。地域とのつながりが感じられるよい機会となりました。



吹奏楽全道管楽個人 アンザンブルコンテスト 2月14日(土) 会場:札幌市教育文化会館

結果 個人 銀賞
管楽8重奏 銀賞

PTA 役員会 2/12

今年の反省と次年度に向けて協議しました。次年度は少しでも負担を軽減し、より皆さんに参加してもらえ活動するため見直しをしました。委員会の活動の変更案についてはそれぞれ委員の皆さんに tetoru でお知らせしております。4月総会でご提案しますので、よろしくお願いたします。

3月行事予定

- 公立高校学力検査・面接・合格発表
- 第12回卒業証書授与式
- 参観日 懇談会
- 大掃除
- 修了式・離任式

学校運営協議会 2/19

中学校区3校合同で実施し、地域にご協力いただいた活動の報告をしました。中学校部会では7名の会員の方と学校評価について意見交流しました。

